



学校経営基本方針

【屋久島町  
教育行政推進計画】

【学校教育】

自然と歴史と人に学  
ぶ教育活動の推進  
～子供の姿で勝負～

【社会教育】

自ら学び・共に高め  
合い・広め合う生涯  
学習の推進  
～自主的活動～

【国・県の教育施策】

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 学習指導要領
- ・ 県教育振興基本計画

【熊毛地区指導の重点】

- ・ 「つなぐー寄り添うーそろえる」信頼性を重視した心を動かす生徒指導
- ・ 探求型授業の「こだわりの視点」追究と学力定着のプランニング・実践による「確かな学力」の定着
- ・ 「生き抜く力を高める」三者連携による健康の保持増進と体力・運動能力向上

公教育の理念に立ち、教育者としての使命と責任を自覚し、「和と協働」そして「人権尊重」の精神を基盤に、全職員の英知を結集し、安房小学校の教育を推進する。

- (1) 人権尊重の精神に立ち、子供一人一人を大切に「心に響く教育」を推進する。
- (2) 創立 140 年の歴史と伝統を尊重し、郷土に根ざした教育活動を展開することにより、特色と風格を備えた活力ある学校づくりに努める。
- (3) 個に応じた指導による基礎学力の確実な定着と個性の伸長に努める。
- (4) 美しく整然とした教育環境を整え、職員の創意と相互信頼、親和協力により、安心安全な学校づくりに努める。
- (5) 学校の教育課題を解決するために、計画的・累積的な校内研修等を通して、教職員の資質の向上に努める。
- (6) 学校・家庭・地域の連携を密にし、相互の理解を深めるとともに、生涯学習の視点に立った開かれた学校づくりに努める。

人権尊重の精神に立った「心に響く教育」

【学校教育目標】

自ら生き生きと学ぶ心豊かな安房の子を育成する

【校訓】

かしこく やさしく たくましく

こんな学校に

- 1 子供一人一人の安全が確保され、安心して学べる学校
- 2 学校と家庭が連携して、子供一人一人に学年相応の学力をつける学校
- 3 学校や地域の歴史と伝統を踏まえ、家庭や地域社会との連携を密にして信頼される学校

こんな子供に

- よく考え学習にはげむ子
- やさしく思いやりのある子
- たくましくがんばりぬく子

こんな職員に

- 1 細やかな愛情をもち、子供の心にしっかりと寄り添う職員
- 2 実践力があり、子供に確実な力をつける職員
- 3 専門職としての使命感に燃え、保護者や地域の信頼にこたえる職員

【学校自慢（スローガン）】

人にやさしく 物にやさしく 命にやさしく

教育課題	よく考え学習にはげむ子	やさしく思いやりのある子	たくましくがんばりぬく子
	<b>知</b> 基礎学力の確実な定着と自ら学ぶ意欲や態度の育成	<b>徳</b> 生命尊重・人権尊重に根ざしたやさしく思い合う心の育成	<b>体</b> 体力・運動能力の向上と保健安全指導の充実
解決の具体策	1 指導力の向上 ・ 児童理解を根拠とした学級経営力の向上 ・ 教材分析・研究をもとにした授業構成力 ・ 学びの羅針盤、授業改善のポイントの活用	1 人権教育の推進 ・ 人権教育に関する研修の確実な実施 ・ 人権尊重の精神に基づく学級経営 ・ 「人・物・命にやさしく」のスローガンを達成する子供の育成	1 保健指導・管理の充実 ・ 速やかな出欠状況確認（9時まで） ・ 担任と養教、栄養教諭等による授業実践 ・ 疾病等の治療勧告推進（むし歯治療率100%）
	2 「こだわりの視点」の実践による学力向上 (1) 主体的な学びにつながる「めあて」 (2) 深い学びにつながる自他との「対話」 (3) 確かな定着を図る「まとめ・振り返り」	2 豊かな心の育成 ・ 道徳の授業公開（6月、9月） ・ 年間読書冊数への積極的な働きかけ（低学年100、中学年85冊、高学年65冊） ・ 縦割り班活動による思い合う心の醸成	2 安全指導の徹底 ・ 学年に応じたKYT ・ 関係機関と連携した避難訓練等の実施 ・ 学校内外事故発生0
	3 学業指導の徹底と家庭学習の充実 ・ 中学校と共有の安房スタンダードの活用 ・ 黙想・発表話型・ノート指導の徹底 ・ 家庭学習の見届け（家庭でも学校でも）	3 いじめ0、不登校0を目指した取組 ・ いじめ防止基本方針の共通理解・実践 ・ 定期的なアンケートによる実態把握 ・ 心に寄り添う教育相談の実施（全戸）	3 体力向上の推進 ・ 汗をかかせる体育指導 ・ 歩いて登校90%（歩育の実践） ・ チャレンジかごしまへの挑戦100%
	4 諸検査の分析と分析結果の活用 ・ 単元テスト=できるようにするまで指導 ・ 諸検査の全職員による分析と活用 ・ 年間指導計画への確かな反映	4 環境整備の推進 ・ 緑化活動による情操教育の推進 ・ 「あるべき所にあるべき姿で」の実践	4 食育・給食指導の充実 ・ 衛生面や安全面の向上、食事と健康理解 ・ 配膳の工夫、食事のマナー向上 ・ 食文化理解と食への感謝の念の醸成

【職員研修テーマ】

確かな学力を身に付ける算数科指導の在り方～「数と計算」領域の定着を目指して～(仮テーマ)

家庭・地域との連携	家庭で実践	地域連携	泊如竹 翁の3つの教え	日々努力せよ	他人に尽くせ	計画を立てて実行せよ
	○ 家庭学習の定着と毎日の見届け（低30分・中40分・高60分以上） ○ 家庭での読書（親子読書、うち読習慣） ○ 親子の会話・対話（学校の出来事、学習）	○ 基本的な生活習慣の定着（挨拶、整理整頓） ○ 家での役割分担（靴洗い、風呂掃除等） ○ 親子の触れ合い（親子ふれあいDay「今日はハグの日」、家族団欒の時間確保、一緒に食事・登校）				
	○ 早寝・早起き・手作り朝ご飯 ○ 歩いて登校・下校（「歩育」の実践） ○ 朝晩の歯みがき、積極的むし歯治療（むし歯治療率100%を目標） ○ 視力低下防止と早期治療の推進	○ 地域住民と相互のあいさつ運動 ○ 子ども会活動等での異年齢交流				○ 見守り隊による登下校中の安全確保 ○ 少年団活動等による体力・気力向上